「私の水辺」推進協議会について

～地域に根ざした水辺活動の継続発展～

大阪府　都市整備部　河川室　河川環境課　菅

目次

- 1. 「私の水辺」推進協議会の概要
- 2. 地域に根ざした水辺活動
- 3. 具体的な実施内容
- 4. 継続の仕組み

1.私の水辺推進協議会の概要

- 地域住民・学校・市民団体・行政等がパートナーシップを築き、良好な水辺環境を保全・活用するきっかけづくりのため、日ごろの取組みについての発表や生物観察など水辺活動を体験する場として様々なイベントを開催しています。

- 「水辺」への関心をさらに深めるとともに、「水辺」に関わる者が一体となった「共につくり、守り、育てる」水辺づくりをめざしています。



川たんけん（中央地域委員会）



川たんけん（中央地域委員会）

令和7年度
各地域のイベント開催状況の紹介

北部地域交流会

①水辺の楽校　令和７年　５月～10月　芥川・安威川（高槻市・茨木市）
②とよなか市民環境展2025　令和７年　11月21日　豊中市豊島体育館
③「私の水辺」大発表会 in イオンタウン茨木太田　令和７年　12月6日・7日　イオンタウン茨木太田（茨木市）



① 水辺の楽校
総合学習の一環として、芥川・安威川地域の小学校7校で、自然体験活動を通じ水辺に親しんでもらうとともに、地域の自然環境・治水対策や水難事故など河川防災について学ぶことを目的に、出前授業を実施しました。



② とよなか市民環境展2025
水難事故防止やマイタイムライン作成を啓発するブースを出展しました。豊中市内の方を中心に約９００名が立ち寄り、河川環境や防災について興味を持ってもらうことができました。

③「私の水辺」大発表会 in イオンタウン茨木太田
水辺の楽校での小学生の学習成果、水難事故防止や治水対策等の防災啓発パネルを展示しました。

●交流会参加団体
高槻市、真上小学校、芥川小学校、南平台小学校、
阿武野小学校、土室小学校、大田小学校、
安威小学校、たかつき環境市民会議、
NPO法人芥川、
高槻市立自然博物館あくあぴあ芥川、
茨木バラとカシの会、豊中市、生物多様センター、
NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ２１

10団体 約2,300名が参加






北河内地域交流会

①水辺の楽校　令和７年　7月19日（土）　天野川（枚方市）
②淀川まるごと体験会　令和７年　4月27日（日）・9月21日（日）　淀川河川公園点野野草地区（寝屋川市）
③茨田イチョウまつり　令和７年11月23日（日）　茨田緑地跡水辺公園（寝屋川市）
④Eボートに乗ろうｉｎ寝屋川　令和7年　7月　6日（日）　京阪寝屋川市駅前 せせらぎ公園（寝屋川市）



① 水辺の楽校（枚方市）
令和７年度も例年同様に夏に開催。川に入って魚とり、取った魚の勉強、川の水質調査などを実施し、明るい笑顔がたくさんある水辺の楽校となりました。



② 淀川まるごと体験会
Eボートやカヌーの乗船体験、自然を使ったクラフトなどで自然に親しんでもらい、水中歩行体験、破堤実験モデルや防災啓発ブースで水防災について学んでいただきました。

③ 茨田イチョウまつり
ハンドメイド謎解きなど体験ブースのほか、大きなイチョウの木の下で参加団体が活動報告を行いました。

④Eボートに乗ろうin寝屋川
川面から見る川や街の景色を味わい、魅力の再発見をしました

●交流会参加団体
枚方いきもの調査会、ねや川水辺クラブ、摂南大学（石田ゼミ・エコシビル部）、
大阪府立西寝屋川高校生物部、大阪公立大高専、淀川探好会、近畿子どもの水辺
ネットワーク、日本水防災普及センター、枚方市カヌー協会、淀川管内河川
レンジャー、寝屋川市自然を学ぶ会、株式会社YKベーキングカンパニー、寝屋川
ユースネット、枚方市、大阪府枚方土木事務所　ほか

15団体 381名が参加





中河内地域交流会

①出前講座・環境学習　令和7年9月4日　北山本小学校
②「中河内水辺だより」　令和2年8月より発行　ホームページにおける情報発信



① 出前講座・環境学習
小学校にて出前講座(学内授業)を行い、大和川、長瀬川の歴史・水質・生き物、豪雨災害について学んでいただきました。また、水の汚れは見た目だけではわからないことを体験してもらうため、パックテスト等を用いて水あてクイズを行いました。

② 「中河内水辺だより」
八尾土木事務所ホームページなどにおいて中河内地域の水辺における活動や水生植物・いきものなどについて情報発信をしています。子どもたちに環境学習をしてもらう・水辺に興味を持ってもらう機会を作る事などを目的としています。

○その他（恩智川CFP、恩智川クリーンUP）
川の美化活動にあわせて、生物観察やパックテストを用いた水質調査を体験いただき、川の愛着を高める取組みを進めています。

●交流会参加団体
八尾市立北山本小学校
アクアフレンズ

2団体 約30名が参加






中央地域交流会

①川たんけん（河川環境学習）　令和7年10月6日（月）　大阪市内河川（大川・堂島川ほか）、津波・高潮ステーション
②桜ノ宮ビーチフェスティバル2025　<荒天により中止>　大阪ふれあいの水辺（大川）



① 川たんけん（河川環境学習）
大阪市立南小学校の4年生の皆さんを対象に、道頓堀川・東横堀川から大川・堂島川などを船で回りながら川や橋に関する勉強、船から採取した川の水の水質調査（パックテスト）の体験をしてもらいました。また、津波・高潮ステーションで防災について学びました。

② 桜ノ宮ビーチフェスティバル2025　<荒天により中止>

●参加団体
大阪市立南小学校

1団体 約40名が参加






南河内地域交流会

①石川流域いきものキッズ　令和７年度は１２回開催　長野公園 奥河内まくら公園(長野地区)及び河川(石川)　他
②水辺のメールマガジン発行　月１回（令和7年度１２回）



① 石川流域いきものキッズ
南河内の水辺に生息する生き物を四季を通じて観察し、川に親しんでもらうため、地域団体が連携して、石川河川公園及び長野公園などで小学生を対象とする連続講座「石川流域いきものキッズ」を開催しました。「探検・冒険」をキーワードに、石川流域の生き物の観察だけでなく、石川の源流である河内長野の森やそこに棲む動植物に触れ、楽しみながら学びました。

② 水辺のメールマガジン発行
毎月、南河内の水辺イベント情報を発信しています。2012年12月からスタートし「南河内ぼわーっと水辺通信」を86回、2019年12月から「南河内水辺通信」を７６回発信しました

●参加団体
都市公園石川河川公園管理共同体、都市公園長野公園管理共同体、
南河内水生生物研究会（以上３団体、雨ふる大地の水辺保全ネットワーク）、NPO法人里山倶楽部
大阪府南河内農と緑の総合事務所、大阪府富田林土木事務所

6団体 約100名が参加





石川流域いきものキッズの状況

泉北地域交流会

①体験型「私の水辺」in 槇尾川　令和７年７月　5日（土）　槇尾川上流
②槇尾こもれびの森　自然観察会　令和７年７月18日（金）　槇尾川上流
③「水」からつながるなんでも博覧会　令和８年２月　7日（土）　泉北府民センタービル



①体験型「私の水辺」in槇尾川
水辺の「楽しさや魅力」、生物の「活き活きとした姿」を感じていただけるイベントを開催しました。

②槇尾こもれびの森　自然観察会
地元のこども園を対象に昆虫や水生生物の観察を行うイベントを開催しました。

③「水」からつながるなんでも博覧会
川、海、いきもの、水質など「水」に関する活動・研究を行っている学校、市民団体や個人による取組みの紹介、パネル展示などを行いました。また水生生物の展示や体験コーナーも併せて設置しました。
２２回目を迎えた今回は「大阪・関西万博」ともコラボし、小学生を中心とした多くの方々に交流を楽しんでもらうことができました。



体験型「私の水辺」in槇尾川

●博覧会参加団体
堺東軸学校／市民ボランティアネットワーク石津川に船を／いずみの国の自然観察クラブ
川とあそぼう♪大和川クラブ／緑ヶ丘の自然を守る会／ミニ水族館／雨水技術研究所
堺環境福祉開発／特定非営利活動ちなか会絵再生工房／少年の水族館／堺市立福泉小学校
堺市立第八学校ビオトープ委員会／富田林高等学校科学部／泉北高等学校サイエンス部
堺市／大阪港湾局・大阪府漁港会／大阪府環境農林水産部／泉州農と緑の総合事務所
交通戦略室／河川室／寝土木事務所／「私の水辺」泉北地域交流会実行委員会　ほか

博覧会：40団体　343名が参加



槇尾こもれびの森　自然観察会



「水」からつながるなんでも博覧会

泉南地域交流会

①男里川 親子水生生物観察会　令和7年6月21日　男里川下流（美笹橋付近）
②男里川 水辺の学校　令和7年9月19日　男里川下流（美笹橋付近）
③近木川汽水ワンド生物観察会　令和7年9月7日　近木川河口付近
④稚魚放流 in せんなん里海公園　令和7年9月28日　せんなん里海公園



①男里川 親子水生生物観察会
親子で水生生物の採捕・観察を行い、思い出作りと水辺環境に対する関心のきっかけ作りを行いました。

②男里川 水辺の学校
阪南市立尾崎小学校の生徒のみなさまに、川の役割や危険を正しく知り、川に生息する生き物を通じて水辺環境を大切さを学んでもらうため、防災学習や水質調査、生物調査といった様々な体験学習を行いました。

③近木川汽水ワンド生物観察会
近木川河口付近にある汽水ワンドには様々な希少種が生息しており、生物観察会を通じ生物の多様性や絶滅危惧等について学び、生物の大切さについて学んでもらうことができました。また河口付近でヒラメの稚魚の放流も実施しました。

④稚魚放流 inせんなん里海公園
せんなん里海☆里山☆FUNFUNフェスに岸和田土木事務所も参加し、環境学習の意味も込めキジハタの稚魚放流を実施しました。

●上記活動の参加団体
男里川水系環境保全活動実行委員会、男里川干潟を守る会、阪南市立尾崎小学校、
貝塚市立自然遊学館、二色の浜公園管理事務所、阪南市役所、
せんなん里海☆里山☆FUNFUNフェス実行委員会、大阪府岸和田土木事務所

8団体 約230名が参加






2.地域に根ざした水辺活動



パックテスト（中河内地域委員会）

- 「私の水辺」推進協議会

　「私の水辺」推進協議会における府内各地域では、小中学生及び地域住民等と川・池・水路・海辺など身近な水辺の調査や清掃、水辺活動など行っています。

　これらの水辺の取組みを通じて「水辺」に関わる人たちの交流を深め、関係団体が一体となって「共につくり、守り、育てる」水辺づくりを目指して活動を行っています。



災害学習（中河内地域委員会）

具体的な実施内容

- 活動事例　水辺の学校

　地域の子供たちに憩いの場として親しみを持ってもらい、河川として違う魅力を感じていただくことを目的とし活動を行っています。

　河川の安全や水生生物について学ぶ「事前授業」と、川に入って生き物調査をする「川の授業」を行います。



水辺の学校（北河内地域委員会）



水辺の学校（北河内地域委員会）

具体的な実施内容

- 「私の水辺」推進協議会　総会

　定期的に水辺の活動について共有する場を設けることで身近な水辺活動を広く発信してもらい、市町村間を越えて「水辺」に関わる大阪府の皆さんの交流を深め、地域ぐるみの水辺活動の継続・広がりを共につくり、水辺を守り育てることを目指しています。

　2024年度は、令和7年2月3日（火）に府所管の枚方土木事務所管内にある生物多様性センター及び太間排水機場で実施しました。



私の水辺推進協議会　総会　意見交換会



私の水辺推進協議会　総会　現場見学会

地域に根ざした水辺活動が継続する仕組み

　コロナ禍でどうしても水辺活動ができないものも多く、規模は縮小しました。しかし、継続して行う創意工夫を行い完全になくなることはありませんでした。

　上記背景には利害の一致が挙げられます。水辺の魅力や自然環境の保全をしたい「地域」、河川管理者の立場から川の安全利用と魅力向上を進めたい「大阪府」、異なる目的を持った主体の利害が一致し、さらにいろいろな生物と触れ合えるロケーションが大阪府内にも各所に存在しているため、継続的に続いています。

